

訪問型職場適応援助者養成研修カリキュラム

大臣指定				JEED					
科目	形態		内容	時間 (分)	科目	形態		内容	時間 (分)
職業リハビリテーションの理念	講義	共通	・職業リハビリテーションの基本理念	30～60	職業リハビリテーションの理念	講義	集合	・職業リハビリテーションの基本理念	60
就労支援のプロセス	講義	共通	・就労支援のプロセス	60～120	就労支援のプロセス	講義	集合	・就労支援のプロセスにおける職場適応援助者による支援の位置づけ	60
訪問型職場適応援助者の役割	講義	共通、 訪問型	・職場適応援助者の制度と役割 ・職場適応援助者の支援の流れ ・守秘義務と情報の共有化	60～120	訪問型職場適応援助者の役割	講義	集合	・訪問型職場適応援助者の職務及び職場適応援助者による援助の事業、職業リハビリテーション計画及び訪問型職場適応援助者による支援計画について	120
			・訪問型職場適応援助者の役割 ・支援者の視点やアプローチの手法、支援のプロセス ・ケース会議の開催と留意事項	60～120					
障害特性と職業的課題	講義	共通	・障害特性と職業的課題 ・障害特性に応じた支援方法、就業支援事例	180～300	障害特性と職業的課題Ⅰ(知的障害・発達障害)	講義	集合	・知的障害及び発達障害の障害特性と職業的課題、支援方法	110
					障害特性と職業的課題Ⅱ(精神障害)	講義	集合	・精神障害の障害特性と職業的課題、支援方法	110
					障害特性と職業的課題Ⅲ(身体障害・高次脳機能障害・難病)	講義	集合	・身体障害、高次脳機能障害及び難病の障害特性と職業的課題、支援方法	140
就労支援に関する制度	講義	共通	・障害者雇用施策の概要 ・労働基準法、最低賃金等基本的な労働関係法規の概要	60～180	労働関係法規の概要	講義	集合	・労働基準法、最低賃金法等労働関係法規の概要	60
職場における雇用管理	講義	共通	・事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ・就労支援における企業のニーズ	60～120	事業主支援の基礎理解	講義	集合	・企業の視点や企業文化、訪問型職場適応援助者による事業主支援の心構え、効果的支援方法	90
企業文化の理解	講義 (見学)	訪問型	・企業経営の基礎 ・企業の視点や企業文化の理解 (可能であれば、企業の見学を行う)	60～180					
アセスメントの視点と支援計画に関する理解	講義 演習	共通、 訪問型	・アセスメントの視点と方法	60～120	アセスメントの視点と支援計画に関する理解	講義 演習	実技	・アセスメントの方法、支援計画及びフォローアップ計画の意味、内容、支援計画に基づく支援のあり方	180
			・支援計画の意味、内容と活用方法 ・支援計画作成のためのアセスメント、プランニングの方法 ・フォローアップ計画の意味と活用方法	120～240					
企業へのアプローチと事業所における調整方法	講義 演習	訪問型	・企業へのアプローチ方法 ・事業所への働きかけと調整方法	120～240	企業へのアプローチと事業所における調整方法	講義 演習	集合	・企業へのアプローチ方法、事業所への働きかけと調整方法	120
事業所での支援方法の基礎理解	講義 演習	共通	・具体的な支援の流れと方法 ・職場環境アセスメント ・職域開拓と職務の再構成 ・ナチュラルサポートの形成	180～360	職場における雇用管理の実際	講義	集合	・企業側から見た障害者雇用管理の現状と就労支援における企業ニーズ	120
職務分析と作業指導	講義 演習	共通	・職務分析、工程分析 ・わかりやすい伝え方 ・ジグや道具の活用と作業改善の提案	240～360	課題分析の理論	講義	集合	・課題分析の概念、内容、実施方法及び活用等	120
					作業指導の実際Ⅰ	講義 演習	集合	・課題分析技法を活用した作業指導及び作業環境へのアプローチの方法	180
					作業指導の実際Ⅱ	講義 演習	実技	・課題分析技法を活用した作業指導及び作業環境へのアプローチの実践的方法	120
支援記録の作成	講義 (演習)	共通	・支援記録の作成方法と活用方法	60～180	支援記録の作成Ⅰ	講義	集合	・支援記録作成に関する基礎的事項	60
					支援記録の作成Ⅱ	演習	実技	・支援記録の作成方法と活用方法	60
地域における関係機関の役割とネットワークの活用	講義	共通	・雇用、福祉、教育等地域の関係機関の役割 ・関係機関の役割分担と連携のあり方 ・関係機関への情報提供の仕方	60～120	地域における関係機関の役割とネットワークの活用	講義 意見交換	実技	・関係機関の役割の理解と連携のあり方、関係機関への情報提供の仕方	60
ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	講義	共通	・ケアマネジメントの理念 ・職業生活を支える支援の考え方と方法 ・家族への支援の考え方と方法 ・職業生活支援における企業の役割と関係機関との連携	60～180	ケースマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	講義	集合	・ケースマネジメントの理念に基づく、職業生活を支える生活支援の考え方と方法、家族への支援の考え方と方法。職業生活支援における企業の役割と関係機関の連携	60
ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際	事例研究	共通	・ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支援の方法を学ぶ	120～240	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅰ	事例研究	集合	・具体的支援事例の検討を通じての、訪問型職場適応援助者の職務及び支援技法	160
					ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅱ	事例研究	実技	・具体的支援事例の検討を通じての、支援上の課題等の的確な整理方法、具体的支援方法・技法	120
事業所における職場適応援助者の支援の実際	実習	共通	(必要に応じて、1時間程度の事前指導を行う) ・事業所実習 ・事業所における雇用管理の理解 ・事業所のアセスメント演習 ・仕事の伝え方、職務分析等の実習	420～480	事業所における職場適応援助者の支援の実際	演習	実技	・事業所における支援の際の心構え、留意事項及び支援方法についての具体的理解(事業所実習を通じての、事業所のアセスメント、課題分析等の演習、支援の実際)	420

企業在籍型職場適応援助者養成研修カリキュラム

大臣指定				JIED					
科目	形態		内容	時間 (分)	科目	形態		内容	時間 (分)
職業リハビリテーションの理念	講義	共通	・職業リハビリテーションの基本理念	30～60	職業リハビリテーションの理念	講義	集合	・職業リハビリテーションの基本理念	60
就労支援のプロセス	講義	共通	・就労支援のプロセス	60～120	就労支援のプロセス	講義	集合	・就労支援のプロセスにおける職場適応援助者による支援の位置づけ	60
企業在籍型職場適応援助者の役割	講義	共通、 企業在籍型	・職場適応援助者の制度と役割 ・職場適応援助者の支援の流れ ・守秘義務と情報の共有化	60～120	企業在籍型職場適応援助者の役割	講義	集合	・企業在籍型職場適応援助者の職務及び職場適応援助者による援助の事業、職業リハビリテーション計画及び企業在籍型職場適応援助者による支援計画の活用	120
			・企業在籍型職場適応援助者の役割 ・支援者の視点やアプローチの手法、支援のプロセス	60～120					
障害特性と職業的課題	講義	共通	・障害特性と職業的課題 ・障害特性に応じた支援方法、就業支援事例	180～300	障害特性と職業的課題Ⅰ(知的障害・発達障害)	講義	集合	・知的障害及び発達障害の障害特性と職業的課題、支援方法	110
					障害特性と職業的課題Ⅱ(精神障害)	講義	集合	・精神障害の障害特性と職業的課題、支援方法	110
					障害特性と職業的課題Ⅲ(身体障害・高次脳機能障害・難病)	講義	集合	・身体障害、高次脳機能障害及び難病の障害特性と職業的課題、支援方法	140
就労支援に関する制度	講義	共通	・障害者雇用施策の概要 ・労働基準法、最低賃金等基本的な労働関係法規の概要	60～180	労働関係法規の概要	講義	集合	・労働基準法、最低賃金等基本的な労働関係法規の概要	60
職場における雇用管理	講義	共通	・事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ・就労支援における企業のニーズ	60～120	障害者福祉と就労支援	講義	集合	・障害者総合支援法における就労支援の位置づけ、障害の概念、社会福祉の視点等	90
社会福祉の現状	講義 (見学)	企業在籍型	・障害者自立支援法における就労の位置付け ・障害の概念、社会福祉の視点等 (可能であれば、就労移行支援事業所等の見学を行う)	60～180					
アセスメントの視点と支援計画に関する理解	講義 演習	共通、 企業在籍型	・アセスメントの視点と方法	60～120	アセスメントの視点と支援計画に関する理解	講義 演習	実技	・アセスメントの方法、支援計画及びフォローアップ計画の意味、内容、支援計画に基づく支援のあり方	180
			・支援計画の意味、内容と活用方法 ・支援計画作成のためのアセスメント、プランニングの方法	120～240					
事業所内における調整	講義 演習	企業在籍型	・事業所内における管理者、社員への理解の促進 ・ケース会議等を通じて関係者と合意形成を図る方法の理解	120～240	事業所内における調整	講義 演習	集合	・事業所内における管理者、社員への理解の促進。ケース会議等を通じて関係者と合意形成を図る方法	120
事業所での支援方法の基礎理解	講義 演習	共通	・具体的な支援の流れと方法 ・職場環境アセスメント ・職域開拓と職務の再構成 ・ナチュラルサポートの形成	180～360	職場における雇用管理の実際	講義	集合	・障害者の雇用管理の現状と課題、職域開拓と職務の再構成やナチュラルサポート形成の方法	120
職務分析と作業指導	講義 演習	共通	・職務分析、工程分析 ・わかりやすい伝え方 ・ジグや道具の活用と作業改善の提案	240～360	課題分析の理論	講義	集合	・課題分析の概念、内容、実施方法及び活用等	120
					作業指導の実際Ⅰ	講義 演習	集合	・課題分析技法を活用した作業指導及び職場環境へのアプローチの方法	180
					作業指導の実際Ⅱ	講義 演習	実技	・課題分析技法を活用した作業指導及び職場環境へのアプローチの実践的方法	120
支援記録の作成	講義 (演習)	共通	・支援記録の作成方法と活用方法	60～180	支援記録の作成Ⅰ	講義	集合	・支援記録作成に関する基礎的事項	60
					支援記録の作成Ⅱ	演習	実技	・支援記録の作成方法と活用方法	60
地域における関係機関の役割とネットワークの活用	講義	共通	・雇用、福祉、教育等地域の関係機関の役割 ・関係機関の役割分担と連携のあり方 ・関係機関への情報提供の仕方	60～120	地域における関係機関の役割とネットワークの活用	講義 意見交換	実技	・関係機関の役割の理解と連携のあり方、関係機関への情報提供の仕方	60
ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	講義	共通	・ケアマネジメントの理念 ・職業生活を支える支援の考え方と方法 ・家族への支援の考え方と方法 ・職業生活支援における企業の役割と関係機関との連携	60～180	ケースマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	講義	集合	・ケースマネジメントの理念に基づく、職業生活を支える生活支援の考え方と方法、家族への支援の考え方と方法。職業生活支援における企業の役割と関係機関の連携	60
ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際	事例研究	共通	・ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支援の方法を学ぶ	120～240	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅰ	事例研究	集合	・具体的支援事例の検討を通じての、企業在籍型職場適応援助者の職務及び支援技法	160
					ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅱ	事例研究	実技	・具体的支援事例の検討を通じての、支援上の課題等の的確な整理方法、具体的支援方法・技法	120
事業所における職場適応援助者の支援の実際	実習	共通	(必要に応じて、1時間程度の事前指導を行う) ・事業所実習 ・事業所における雇用管理の理解 ・事業所のアセスメント演習 ・仕事の伝え方、職務分析等の実習	420～480	事業所における職場適応援助者の支援の実際	演習	実技	・事業所内での指導等について(事業所実習を通じての、事業所のアセスメント、課題分析等の演習、支援の実際)	420